

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆6期ぶりマイナス成長予測、7～9月GDP年2.4%減 輸出に米関税の影響

・7～9月期の日本経済は6四半期ぶりのマイナス成長となりそう。日本経済新聞が10月末時点で民間エコノミストに実質GDP(国内総生産)成長率の見通しを聞いたところ、平均は前期比の年率換算でマイナス2.4%だった。米関税政策の影響が徐々に出て、輸出の減少が成長の押し下げ要因になる見込み。

◆税の無駄540億円、検査院24年度 医療福祉・中小支援で不正目立つ

・国の2024年度決算について、会計検査院が官庁や政府出資法人の支出状況を調べたところ、税金の無駄遣いや改善が必要とみられる事業は計319件、総額540億円に上ることが分かった。医療福祉分野や中小企業向け補助金の不正受給が目立ったほか、道路などインフラの防災対策に遅れが出ている状況が浮かび上がった。

◆JR東日本、顔パス改札の実証実験「駅ナカ」消費拡大の切り札に

・JR東日本は顔認証技術を使って改札を通過する実証実験の様子を新潟県で公開した。顔写真を事前登録すれば、交通系ICカード「Suica(スイカ)」を出さずに入退場が可能になる仕組み。JR東は利便性向上に加え、移動のハードルが下がることで「駅ナカ」消費の増大も見込む。早期の実用化によって自社経済圏の拡大を目指す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆日本製鉄の最終赤字600億円の拡大 26年3月期、USスチール利益ゼロ

・日本製鉄は2026年3月期の連結最終損益(国際会計基準)が600億円の赤字(前期は3502億円の黒字)になる見通しだと発表した。従来予想(400億円の赤字)から200億円下方修正した。米国市場の不透明感を踏まえ、買収した米鉄鋼大手USスチールの業績を見直したことが響く。事業再編による株式売却の損失も計上する。

◆ヤマト運輸、宅急便当日配送サービス 東京都千代田区なら茨城県まで

・ヤマト運輸は宅急便に当日中に届けられるサービスを始めると発表。追加料金を支払えば、午前中に営業所に持ち込めば最短で午後2時以降に近隣の都道府県まで届く。あわせて、個人客向けの同一都道府県内の運賃を最大780円引き下げること発表した。単価の高い個人客による利用を増やし、宅急便の収益性を高める。

◆ダイキン、データセンター液体冷却の米チルドインを買収

・ダイキン工業は米子会社を通じてデータセンター内のサーバーを液体で冷やす「液冷」方式の技術を持つ米チルドインを買収したと発表。人工知能(AI)に使う画像処理半導体(GPU)の発熱を抑えるためデータセンターの冷却需要は高まってきた。ダイキンは空気で冷却する「空冷」方式を手掛けているが、液冷も加えて市場を開拓する。

《 注目商品 》

■ダイキン、省エネ性と猛暑時の快適性を向上したエアコン発売

・省エネ性と猛暑日の快適性を向上させたルームエアコン「うるさらX(Rシリーズ)」を発売。高断熱住宅や中間期など室温が安定した環境でムダのない運転をする「プレミアムPIT制御」と冷房時・暖房時最大8%の消費電力量を抑える「エコブースト制御」により、省エネ性と快適性を向上。



■三和シャッター、シャフト交換だけで手動窓シャッターを電動化

・既設の手動窓シャッターを電動化する「マドモアチェンジ」シリーズに、IoT対応が可能な新モデル「マドモアチェンジSY II」をラインアップ。新モデルは開閉機を内蔵したシャフト交換だけで電動化が可能。



■パーパス、タッチレスセンサーライト搭載のレンジフード VDX/AJDシリーズ

・業界初のセンサーに手をかざすだけでLED照明を点灯・消灯することができるタッチレスセンサーライトを搭載したオリジナルレンジフード。回転着脱式の丸型オイルトレイにより清掃性を高めた。粉体焼付塗装や常時換気を標準で搭載。

